



10月6日(金)前期終業式、10月10日(火)後期始業式

『天高く馬肥ゆる秋』…記録的な暑さが9月の中旬以降も続きましたが、ここ最近、朝晩は涼しく、爽やかな過ごしやすい季節となりました。気が付けば10月。中野区は二学期制を取っているため、10月は年度の折り返しの時期となります。6日(金)に前期の終業式、7日(土)から9日(月)スポーツの日の3連休を秋季休業日、10日(火)が後期始業式となっています。私は長野県生まれなので、10月の3連休は「お手伝い休み」と言い、農家の子供たちは稲刈りの手伝いをしていました。私の母親の実家は農家だったので、家族総出で稲刈りの手伝いに行ったことを思い出します。

さて、終業式には通知表が渡されます。毎年終業式で生徒に伝えることは、通知表の結果に一喜一憂するのではなく、通知表の結果を真摯に受け止め、この半年間の自分自身を振り返る機会にして欲しい言うことです。担任が皆さん一人一人に向けて書いた所見も、振り返りの材料になるのでしっかりと読んでください。そして、この半年間自分ができたこととできなかった事(できれば)紙に書き出し、できたことは継続し、できなかった事についてはその原因と背景を分析し、解決に向けた方策を検討し、後期から実行に移してもらえたいことを期待しています。方策が見つからないときは、是非先生方に相談してみてください。

少し前の話になりますが、文部科学省は7月31日に令和5年度の全国学力・学習状況調査の結果を公表しました。4年ぶりに実施された中学校英語(聞くこと・読むこと・書くこと)は、平均正答率が46.1%と前回(平成31年度)より約10ポイント下がりました。社会的な話題についての英文を読み、自分の考えとその理由を書く問題で無解答率が高く、正答率も低迷しました。また、抽出校に実施した英語「話すこと」の調査は全5問中、平均正答率12.4%と低水準でした。

専門家は「授業で行っている言語活動が生徒の発信能力の向上につながっているか振り返る必要がある」と指摘しています。具体的には「ロボットが身の回りで利用されていることを説明した上で、ロボットによって人々の生活がより良いものになる」と述べた文章に対する考えを尋ねる問題に対して、正答率は20.1%で無解答率が28.9%でした。正答例は「賛成です。ロボットが家事をしたら、我々は多くの時間ができるからです。」などでしたが、「はい、ロボットはとても素晴らしいと思います。」といった聞き手の意図を適切に踏まえていない回答などが27.8%もありました。このように回答した生徒は、自分の意見を書く際に、なぜそのように考えたのかという理由を、英文の書き手の意見を踏まえて書くことに課題があると考えられます。どのようなことを書けば理由になるのかを理解できていない、あるいは、理由を書くために必要な表現が身に付いていないことが考えられます。また、自分の考えやその理由を書くことはできているが、文法事項等の誤りがある解答が7.6%見られることから、基本的な語や文法事項等を理解して文章を書くことに課題があると考えられます。この結果を受けて、日本語を英文で表すという事でこのよう結果が出ていると考えるところもありますが、こういった傾向は他の教科にも顕著に見受けられます。その背景には、コミュニケーションの主体がスマートフォン(メール)に変わり、生徒及び我々教員も踏まえ、日常生活の中で、直接に相手と向かい合って、自分の考えや思いを自分の言葉で伝える機会が減少している事に起因しているように思います。各教科の授業を見ても、教師と生徒の一问一答、ICTを活用してクラス全員の考えを知ることはできても、そこからディスカッションはあまり生まれにくいのが現状です。つまり日常的に言葉のキャッチボール、コミュニケーションが少ない中で我々は日々の生活を送っている事になります。先ほど、通知表の話をしました。テストの結果だけではなく、子供たちに本当に必要な力は、社会に通じるコミュニケーション能力ではないかと思っています。10月10日から後期が始まりますが、学力の向上はもちろん、生徒一人一人のコミュニケーション能力と「思考スキル」の向上にも努めていきたいと考えます。改善のポイントは、聞き手、あるいは読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解したことを基に、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて適切に表現できる力の向上に努めたいと思います。各教科指導に当たっては、聞く、読む目的に応じて要点を捉えた上で、内容に対する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなど、領域を統合した言語活動を行うことが大切と考えます。その際、なぜそのように考えたのかという理由を考えさせたり、生徒の発話に対して教師が理由を尋ねるなどの取組を推進していきます。方策として「仮説を立て自分の考えでまとめる」「自分の考えを1分間で話す」「友達の意見を受け意見交換(ディベート)する」など、「説明をさせる活動」の指導を取り入れていきます。経済産業省が提唱した「社会人基礎力」の要素の中に「発信力」があります。発信力とは、自分の意見をわかりやすく相手に伝える力のことを言うそうです。傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力とともに、さまざまな立場・価値観の人と協力して働くために必要となります。今から社会人として必要な発信力を培うためにも、まずは「聞く・読む」を基盤に「自分の考えをもち、その理由を文章に表し説明する力の育成」が後期の課題と考えています。

10月行事予定表 (家庭用)

今月の目標:すすんで委員会や当番活動をしよう

日	曜	行事	会議・生徒会・その他	時程	学習室	給食	11月行事予定(21日)			
		(授業日数10+12)					日	曜	行 事	給食
1	日	都民の日					1	水	学年会	○
2	月	学年朝礼	放課後練習	★		○	2	木	三者面談開始(3)	○
3	火	生徒会役員選挙				○	3	金	文化の日 連合文化発表会	
4	水	学				○	4	土		
5	木	安 命の授業(2)	放課後練習	★		○	5	日		
6	金	前期終業式	放課後練習	★		○	6	月	学年朝礼 安	○
7	土	秋季休業日(始)					7	火	脊柱側彎検診(1)	○
8	日						8	水	中教研(教科)	○
9	月	スポーツの日秋季休業日(終)					9	木		○
10	火	後期始業式 ⑥後期委員決 生徒会委嘱状伝達	放課後練習	★		○	10	金	三者面談終(3) 避	○
11	水	避 職 乳幼児ふれあい体験(2)				○	11	土	土曜授業 進路説明会 学校説明会	×
12	木	専門中央委員会		★		○	12	日		
13	金	①②I組練習 ④2年学年練習 ⑤1年学年練習 ⑥3年学年練習	放課後練習	★		○	13	月	定期考査Ⅲ 1日目	○
14	土	特支連合運動会					14	火	定期考査Ⅲ 2日目 職	○
15	日						15	水	定期考査Ⅲ 3日目	○
16	月	(朝礼)I組振替 ③④2年リハーサル				○	16	木	専門・中央委員会	○
17	火	①②1年リハーサル ③④3年リハーサル ⑤I組リハーサル				○	17	金		○
18	水	中教研		★		○	18	土		
19	木					○	19	日		
20	金					○	20	月	生徒朝礼 宿泊事前健診(1)	○
21	土	合唱コンクール				○	21	火	分	○
22	日						22	水	イングリッシュキャンプ(1)	○
23	月	振替休業日					23	木	勤労感謝の日 イングリッシュキャンプ(1)	
24	火					○	24	金	振替休業日(1)	○
25	水	研				○	25	土		
26	木					○	26	日	スピーキングテスト(3)	
27	金	校外学習(2) 宿泊学習保護者会(1)				○	27	月	朝礼	○
28	土						28	火		○
29	日						29	水		○
30	月					○	30	木	三者面談開始(全) 色覚検査(1)希望者	○
31	火					○				
備考										